



飯田西中学校だより

むつみ育てん まごころを

令和4年5月13日 No. 2



ふうくん

令和4年度の1か月を過ごして…



72名の新入生を迎える、およそ1か月が過ぎました。やる気と期待、不安が入り混じる中、それに一生懸命生活してきたことでしょう。まだ11か月ある、1/12が過ぎた…、捉え方は人それぞれであると思いますが、夏に向かって一日一日を大事にしていただきたいと思います。

4月6日の入学式以降、新型コロナウイルス感染症について依然として予断を許さない状況が続く中、学校生活のリズムをつくるために、授業の流れや学びのスタイルを確立するために、生徒会活動の目指す方向性を共有するために、部活動の新たな体制づくりのために、「学校生活/授業・学習ガイダンス」や「第1回生徒総会」、「新入生部活動説明会（仮入部）」などの行事を行うことができました。

第1回生徒総会

4月26日（火）午後、第1回生徒総会が開かれました。生徒会役員が生徒会スローガン、年間活動計画、生徒会一般会計予算計画の各説明を行いました。各学級からは、活動方針や計画、予算の使い方等について多くの質問や意見が出されました。オンラインによる生徒総会でしたが、運営面から内容に至る全てにおいて、生徒自らが主体となって考え、使い慣れたタブレット端末やICT機器を駆使しながら実行することができた見事な総会であったと思います。これまで飯田西中が先進的に取り組んできたICT機器を活用した教育推進の成果の一端ともいえるでしょう。



【第1回生徒総会(4月26日)】

令和4年度生徒会スローガン「きょうそう 共創～自分色で生徒会を鮮やかに～」

このスローガンに込める思いは、「多様な立場の人たちと対話しながら、生徒会を「共」に「創」りあげること」「共創していく中で、一人一人が無限にある「色」のように「自分」の正直な考えを伝え合い、多彩なアイディアにより西中生徒会を鮮やかに明るくすること」にあります。また、スローガン達成に向けて、ディスカッションや目安ホームの設置、団結することの大切さや重要性、貢献活動の充実、SDGs（持続可能な開発目標）につながる企画等を掲げています。

参観日①（校長講話）

4月28日（木）、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点及び飯田市の警戒レベルが5である状況から、午前の授業参観を中止し、午後の校長講話、親子ICT体験教室、学年・学級PTAをオンラインで行いました。宮下校長先生のお話では、西中グランドデザインについて、教育目標やめざす生徒の姿、学校経営ビジョン、重点活動等の説明がありました。結びに次のようなお話をありました。

学校経営ビジョン

☆ 安心・信頼・自信をベースとし、想像力と創造力をはたらかせる。

☆ 3S = シンプル・スクラム・スマイル

3C = チャンス・チャレンジ・チェンジ

☆ 前向き思考の楽しい学校生活と、栄養・睡眠・運動の健康生活をおくる。

【校長講話プレゼン資料より(4月28日)】

子ども達は、多感で悩み多き思春期を生きます。自立のための親離れと反抗期により成長します。私たち大人もこの時代を生き、経験しました。自身の経験上、子どもの足りないところや、大人に望むことなどは、想像に難くありません。次の3点に気をつけていただきたくお願いします。

- ・過保護 子どもが望んでいることをやってあげすぎること。
- ・過干渉 子どもが望んでもいいことを親が先回りしてやりすぎること。
- ・放任 何でも子どものしたいようにさせること。

白か黒か 0か100かの対極ではなく、バランス感覚よく、AかBだったらCもあるぞと考え、大人同士も協力して、子どもの背中を支えたり、押したりしましょう。

参観日①（親子 ICT 体験教室）

社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0 時代」、新型コロナウイルス感染症など先行き不透明な「予測困難な時代」、社会全体のデジタル化・オンライン化など、急激に変化する時代の中を私たちは日々生活しております。幸福（ウェルビーイング）を営むために、時代に即した必要な資質・能力も変化してきています。令和3年1月の中教審答申「令和の日本型教育」では、これまでの実践と1人1台端末等のICTとの最適な組合せを実現することにより、ICTを基盤的なツールとして最大限活用し、教育の質の向上につなげていくことが重要であると述べられています。飯田市教育委員会事務局の櫻田誠二先生を講師として迎え、このような社会背景の説明と同時共同編集を親子で体験する場が設けられ、様々な反響をいただきましたのでその一部を紹介します。



【親子 ICT 体験教室(4月 28 日)】
3台端末を写真のように駆使して行っていました。ちょっとしたスタジオですね(^▽^)/

- ・親が感心していて学校でICTをどのように活用しているのか知ってもらえてよかった。（3年生徒）
- ・今日実際に振り返ってみたら1年間で結構ICTを活用しているし、私もタイピング早くなくなった気がする！あとは使い方に気を付ければすごく便利で、授業などもスムーズに行えて役に立つと思った。（2年生徒）
- ・ICTを使うことで勉強の理解や幅が広がることが分かった。一方で使い方を誤らないようにしたい。PCは事故のもともなる。（1年生徒）
- ・自分も学生のときに、こういった方法で勉強したかった。（保護者）
- ・子どもたちの新しい授業の形を見てることができとてもよかったです。（保護者）
- ・子供の成長が早いことに驚きが隠せません。親も理解しようとする放棄しないように関心を持ち続けていたいと思いました。（保護者）
- ・今の子供達は自分たちの頃にはなかった経験を沢山積んでいるんだなと感じました。（保護者）

資源物回収 ~ご協力ありがとうございました~

5月8日（日）資源物回収が行われました。天候にも恵まれ、早朝より生徒の皆さんや役員の皆様のおかげをもちまして無事に回収作業が終わりました。互いに協力し合いながら黙々と作業を進める姿、自ら気付いたことを率先して取り組む姿など、素晴らしい姿がたくさんありました。この資源物回収の収益は、かざこし祭運営費用や図書購入費、部活動補助費として利用させていただきます。ご協力に感謝いたします。



【資源物回収での姿(5月8日)】

学校運営協議会が行われました

5月11日（水）午前、羽場・丸山・東野地区のまちづくり委員会会長、公民館長、公民館主事、丸山小・飯田西中両校のPTA会長、校長・教頭の各委員と飯田市教育委員会による「第1回丸山小・飯田西中学校運営協議会」が開催されました。ここでは、本年度の学校運営協議会長、副会長の選出が行われた後、各校における運営の基本的な方針（グランドデザイン）が承認され、地域の方針と活動計画の発表がありました。また、明るいかざこしの子らを育てる会が6月23日（木）19時より開催されることも確認されました。今後、推進部会では、目指す子ども像を共通項としてテーマを設定し、具体的な活動が行われていくこととなります。



【丸山小・飯田西中学校運営協議会(5月11日)】

<保護者の皆さまへのお願い>

◇引き続き、新型コロナウイルスへの感染拡大防止対策へのご協力を願います。毎朝、健康観察と検温を行い、マスクを着用して登校してください。

◇飯田警察署管内では、現在、「出会い頭事故と追突事故」が増加しているとのことです。歩行者の皆さんも左右の確認をよくしてから交差点や横断歩道を渡るようにしましょう。また、夜間での夜光反射材の活用や自転車に乗る際はヘルメットの着用をお願いします。



(文責：教頭 下平 将揮)